

Fotogènic

取扱説明書

はじめに

設置する

アプリインストール

写真を保存する

写真を見る

Instagramに投稿

写真を共有する

写真の整理（タグ）

設定画面を開く

各部の名前と機能

お守りください

アフターサービス

レシートや納品書は大切に保管してください。
修理時に保証期間を確認するために必要です。

もくじ

Table of contents ▼

はじめに	3	写真を整理する(タグ)	28
本製品の使用目的	3	タグを付ける	28
添付品を確認する	3	写真をタグで絞り込む	31
動作環境	4	設定画面を開く	32
取扱説明書の構成	5	各部の名前と機能	34
設置する	6	お守りください	37
専用アプリをインストール する	8	安全のために	37
写真を保存する	15	使用上のご注意	41
保存の対象(保存元)	15	アフターサービス	43
保存の手順	16	お問い合わせについて	44
保存した写真を見る	20	修理について	45
Fotogènicを開く	20	ハードウェア保証規定	46
写真を探す	21		
写真を見る	22		
写真をInstagramに投稿する	23		
写真を共有する	24		
あなたの操作	24		
共有する人の操作	26		

はじめに

Introduction ▼

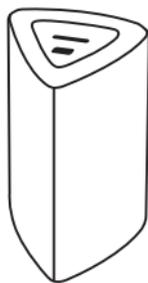
Fotogènicに関する情報をご説明します。

本製品の使用目的

Fotogènicは、ご家庭のネットワークにつなぐフォトストレージです。「Fotogènic」アプリを使い、スマホやデジカメの写真を本製品に保存し、活用します。



保存する



「Fotogènic」
アプリ

写真を撮った後の楽しみ

見る

Instagram



共有する

整理する



添付品を確認する

LAN ケーブル

Fotogènic 設定シート

AC アダプター

取扱説明書(本書)

動作環境

最新の対応情報は、弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.iodata.jp/product/nas/personal/hls-pg1/spec.htm>
(以下は2017年6月現在の情報です)



● 設置条件

- ・ 有線LANでインターネット環境に接続できること。
- ・ 本体をつないだネットワークにWi-Fi(無線LAN)でつなげられること。
- ・ AC100V 50/60Hzの電源コンセントに接続できること。

● スマホ・タブレット

Fotogènicアプリは、次の環境で使うことができます。

iPhone、iPad、iPod touch	iOS 9.3 ~ 10.3
Android 端末	Android 4.1 ~ 7.1 [※]

※ バージョン4.0以前からバージョンアップした端末は非対応です。

● パソコン

次の環境で、Fotogènic内の写真にアクセスできます。

Windowsパソコン	Windows 10 ^{※1※2}
	Windows 8.1 ^{※1※2}
	Windows 8 ^{※1※2}
	Windows 7
Mac	macOS 10.7 ~ 10.12

※ 設定画面の表示言語を「日本語」以外に変更した場合、サポート対象外です。

※1 設定画面は、デスクトップモードをご利用ください。また、Internet Explorerバージョン11では互換モードを有効にご利用ください。

※2 Microsoftアカウント(@が含まれるアカウント)で使用される場合は、以下の弊社Webページをご確認ください。

http://www.iodata.jp/lib/manual/pdf2/landisk-win8_20140110.pdf

取扱説明書の構成

Fotogènicの取扱説明書には、次のものがあります。

- 取扱説明書(本書)：
Fotogènicの基本的な使い方が説明されています。
- 画面で見るマニュアル：
Fotogènicを設置した後、より詳細な説明を求める場合は、インターネット上の画面で見るマニュアルをご覧ください。
説明例：パソコンで写真を見る方法、設定画面の項目説明、
困ったときには(FAQ) など

これらの取扱説明書は、下記Webサイトからご覧になれます

<http://www.iodata.jp/p/161956>

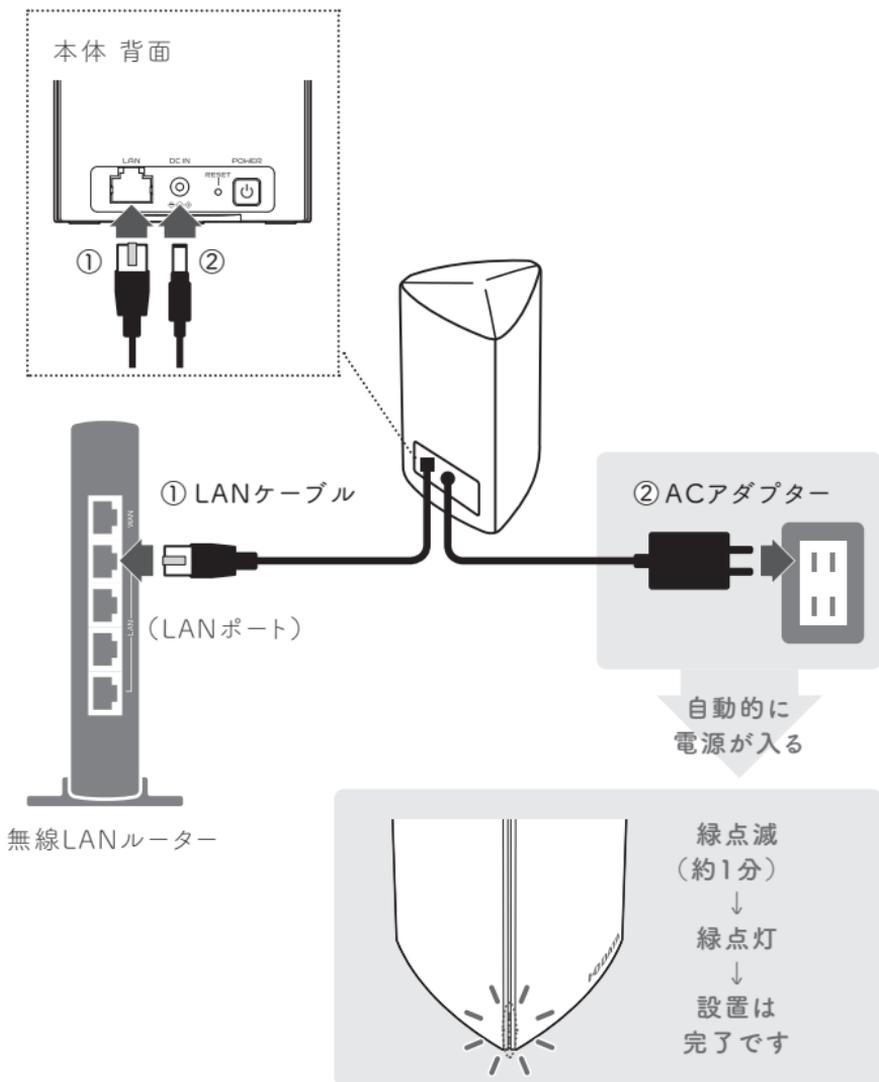


Fotogènicアプリにはヘルプがあります

合わせてご覧ください。

設置する

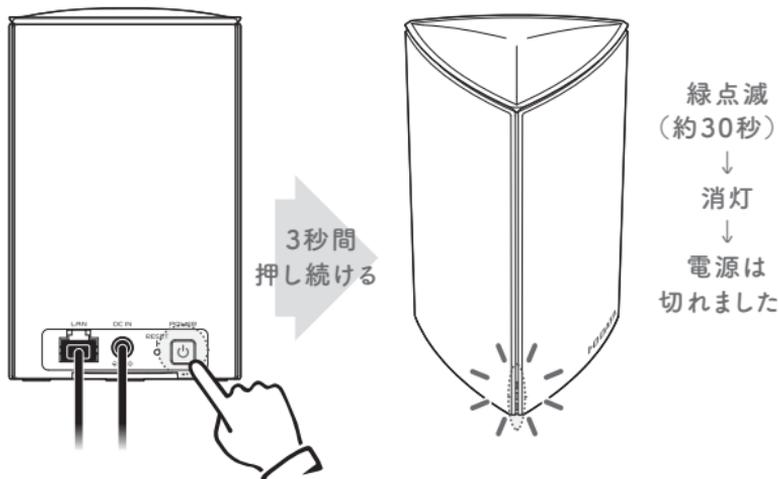
Install this Unit ▼



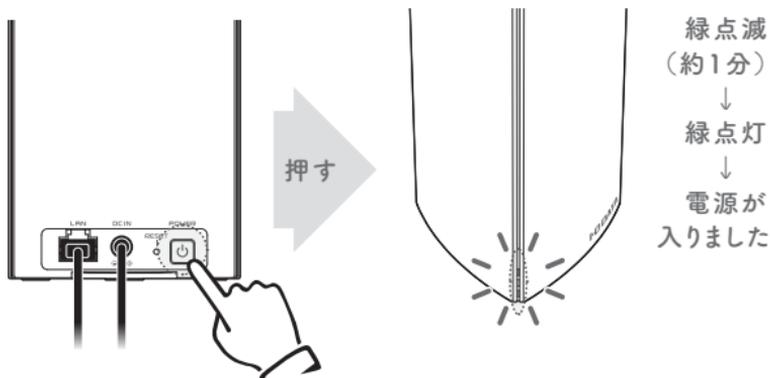
ご注意：前面ランプが赤点滅した場合

- LANケーブルが正しくつながっているかご確認ください。
- 【設定画面を開く】(32ページ)をご覧になり、本体の設定画面を開き、ログ表示をご確認ください。

電源の切り方



次回からの電源の入れ方



専用アプリをインストールする

※ 手順の画面例は、iOS のものです。

Install App ▼

Fotogènic に保存した写真を閲覧したり、設定画面を開いたりする専用アプリ「Fotogènic」をインストールします。

1



添付の「Fotogènic 設定シート」
を用意する

2

スマホに Fotogènic アプリをインストールする

※ App Store または Play ストアで「Fotogènic」か「フォトジェニック」と検索してください。

3

Fotogènic アプリを開く

「利用規約の更新と、新しいお知らせがあります」と表示された

[OK] をタップし、利用規約を読んだら [同意する] をタップします。

4

お知らせを読み、[はじめる] をタップする

「端末上の写真... へのアクセスを許可しますか?」と表示された

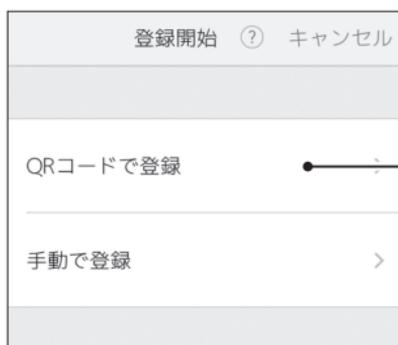
[許可] をタップします。

5



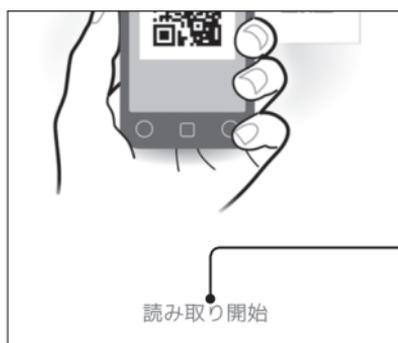
[接続機器を登録する] を
タップ

6



[QRコードで登録] をタップ

7



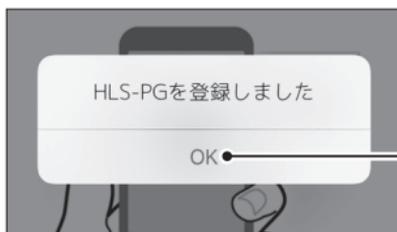
[読み取り開始] をタップ

8



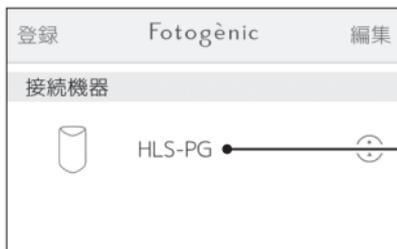
「Fotogenic 設定シート」の
QRコードを読み取る
⇒「HLS-PG」が登録されます。

9



[OK] をタップ

10



[HLS-PG] をタップ

iOSの場合

プロフィール・証明書のインストールが必要です。

● 右上の画面が表示された場合

画面右上の[インストール]をタップして、画面の指示に従ってください。

パスコードは端末のものを入力します。



● 右下の画面が表示された場合

① [インストール]をタップし、プロフィール・証明書をインストールします。

画面の指示に従ってください。

パスコードは端末のものを入力します。

② 設定アプリの[一般]→[情報]→[証明書信頼設定]を開きます。

③ [I-O DATA HLS-PG XXXXXX]を有効にします。



「PINコードが間違っています」と表示された場合

「Fotogènic設定シート」はすでに使われて、使えなくなっています。

● Fotogènicに接続できるスマホがある場合

そのスマホのFotogènicアプリでQRコードを表示し、そのQRコードを読み込んでください。(14ページ)

● Fotogènicに接続できるスマホがない場合

本体をリセットして、「Fotogènic設定シート」をもう一度使えるようにします。

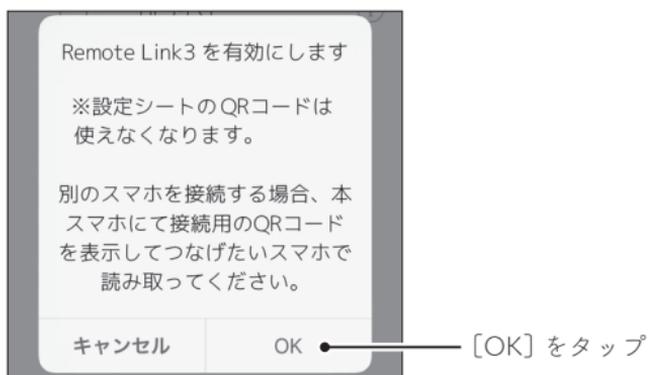
① 本体の電源を入れ、前面ランプが緑点灯するまで待つ

② リセットボタン(35ページ)を先の長いもので3秒以上押す

③ 前面ランプが緑点滅→緑点灯すればリセット完了です。

もう一度「Fotogènic設定シート」を読み込んでみてください。

11



Fotogènic設定シートは保管しておいてください

Fotogènic設定シートはこの操作で使えなくなりますが、本製品をリセットすることで使えるようになります。

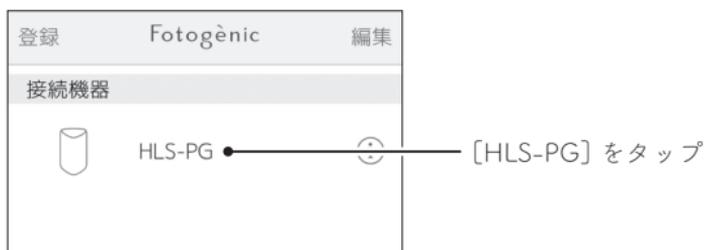
上の画面が表示されない

すでにこれ以降の設定を完了しています。
これでFotogènicアプリのインストールは完了です。

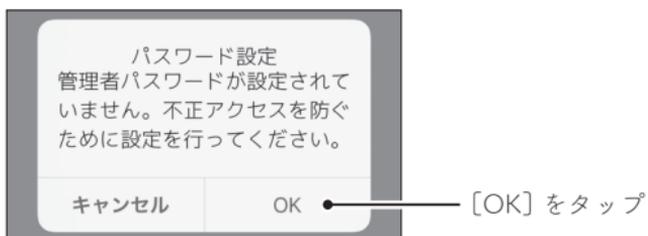
12



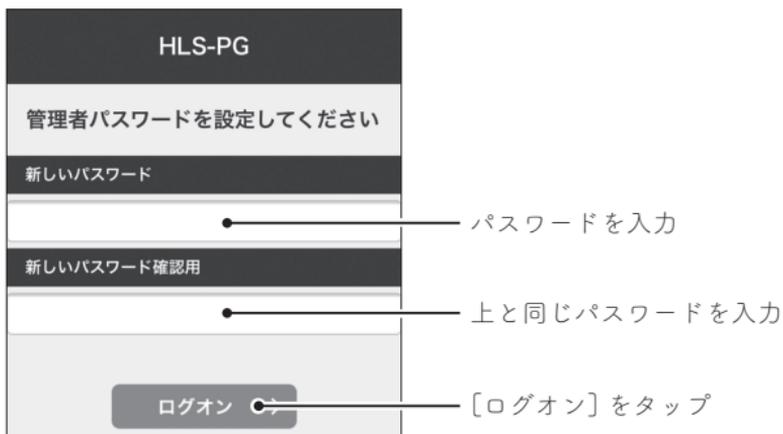
13



14



15



これでFotogènicアプリのインストールは完了です。
次は、Fotogènicに写真を保存します。

2台目のスマホにも Fotogènic アプリをインストールする

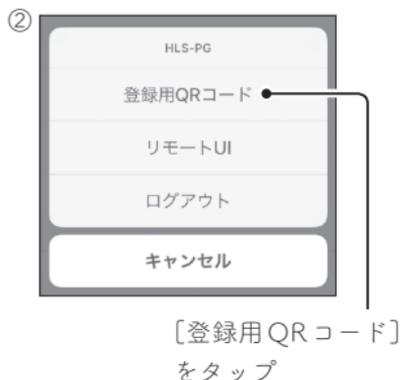
2台目以降のスマホに Fotogènic アプリをインストールする際には、手順2(8ページ)～手順10まで操作してください。

ただし、「Fotogènic設定シート」はもう使えなくなっています。

そのため1台目のスマホで下の操作をして、QRコードを表示してください。

そのQRコードを、手順8で「Fotogènic設定シート」の代わりに読み込んでください。

● iOS版のQRコード表示方法



● Android版のQRコード表示方法



写真を保存する

Save photos ▼

本体天面のSDカードスロットやUSBポートから、Fotogènicに写真を保存(コピー)します。

保存の対象 (保存元)

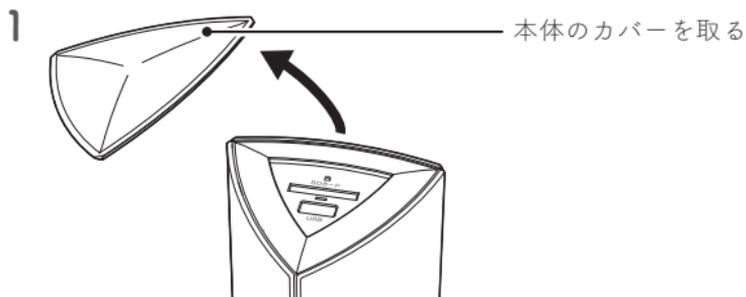
保存のために本体に挿したものの「DCIM」フォルダーに入っている写真データを保存できます。

保存に使う場所	保存対象
SDカードスロット	デジカメの撮影に使ったSDカード (SDXC、SDHC、SD)
USBポート	スマホ(iOS/Android) ※ 接続に使うUSBケーブルは、スマホに付属のものをお使いください。 (充電専用ケーブルは使えません)

同じ写真が入っていた場合の動作

すでに保存済みの写真を保存しようとした場合、それらは無視されます。上書きや別名保存されることはありません。

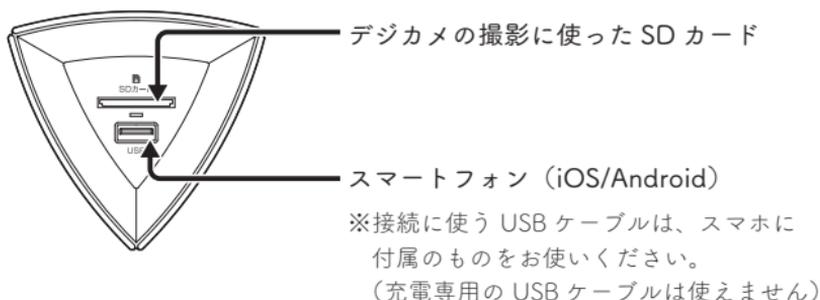
保存の手順



磁石にご注意ください

天面には、カバーを固定するために磁石が入っています。
時計・磁気カードなど磁気の影響のおそれがあるものは近づけないでください。

2 写真の入った保存対象を対応した場所に挿す



SD カードスロットと USB ポートの両方を同時に使わない

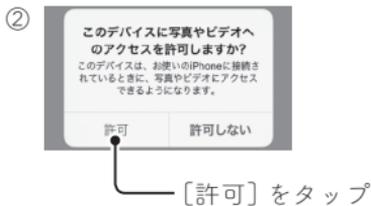
両方を同時に挿すと、SD カードスロットが優先されます。
結果、USB ポート側の写真は保存されません。
(SD カードを抜くと、USB ポート側の保存が始まります)

3 スマホを操作して、写真にアクセスできるようにする

操作例

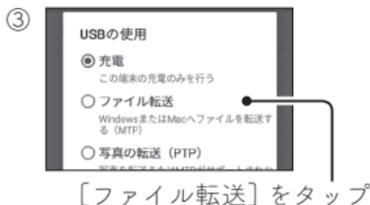
● iOS の操作例

① 下の画面が表示される

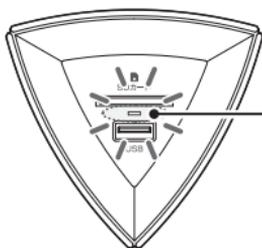


● Android の操作例

① 画面を上から下に向かってなぞる



4



しばらくすると天面ランプが点滅するので、点灯するまで待つ

※天面ランプの点滅中は、写真を保存しています。
保存対象を本体から取り外さないでください。

写真の保存(点滅→点灯)にかかる時間の目安[写真100枚(合計166MB)]

保存元	所要時間
SDXC メモリーカード 「SDX-UT64G」	13秒
iPhone 7 (iOS)	3分6秒
Arrows M3 (Android)	3分25秒

※写真の枚数が多くなるほど、取り込みに時間がかかります(iPhone 7 写真1000枚で、約50分)。こまめに保存することをおすすめします。

スマホのロック(スリープ)にご注意ください

スマホがロック(スリープ)状態になると、写真の保存が一時停止されます。

スマホのロック(スリープ)を解除し、写真の保存を再開してください。

● 自動ロックまでの時間を変更する設定例(iOS)

- ① [設定] を開く
- ② [画面表示と明るさ] → [自動ロック] を開く
- ③ 時間を変更する

※低電力モード中は自動ロックまでの時間を変更できません。

低電力モードを解除するには、[設定] → [バッテリー] → [低電力モード] を変更してください。

● スリープまでの時間を変更する設定例(Android)

- ① [設定] を開く
- ② [ディスプレイ] → [スリープ] を開く
- ③ 時間を変更する

5 天面ランプが点灯に戻ったら、保存対象を取り外す

天面ランプの点滅が終わらない場合

スマホの写真を保存中に、スマホがロック(スリープ)状態になっています。

詳しくは、【スマホのロック(スリープ)にご注意ください】(18ページ)をご覧ください。

6 本体のカバーを元に戻す

本体のカバーはきちんと元に戻してください

本体のカバーは、天面のSDカードスロットやUSBポートにホコリなどの異物が入り込まないようにします。

これで写真の保存は完了です。

Fotogènïcアプリを使って、保存した写真を見てみましょう。

写真の保存場所

保存された写真は、Fotogènïc内の共有フォルダー「photo」に保存されます。その際、各写真は[スマホ・SDカード名]→[撮影年]→[撮影月]のフォルダーに保存されます。

- 挿したiPhoneに2017年2月15日に撮影した写真の場合
[photo]→[Apple iPhone_001]→[2017年]→[2月]→IMG_1234.png

保存した写真を見る

※ 手順の画面例は、iOS のものです。

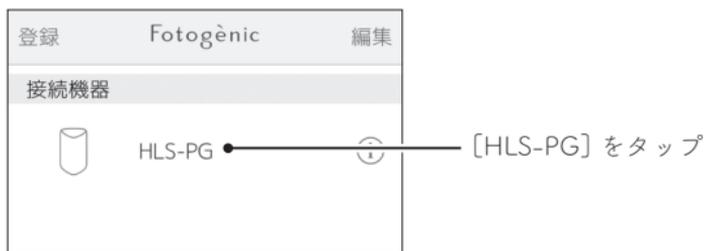
View saved photos ▼

Fotogènic アプリを使って、保存した写真を見ます。

Fotogènic を開く

1 Fotogènic アプリを開く

2



Fotogènic 内が表示されます。

「disk」と「photo」って何？

Fotogènic 内のフォルダーです。これを「共有フォルダー」と呼びます。使い始めたときには、共有フォルダーは「disk」「photo」の2つあります。

- photo
SD カードスロットや USB ポートから保存した写真を格納します。Fotogènic アプリで「photo」内を見ると、写真閲覧のための表示をします(年や月をサムネイル画像で表示する、大きいサムネイルを表示など)。
- disk
写真以外のデータを保存したいときにご利用ください。

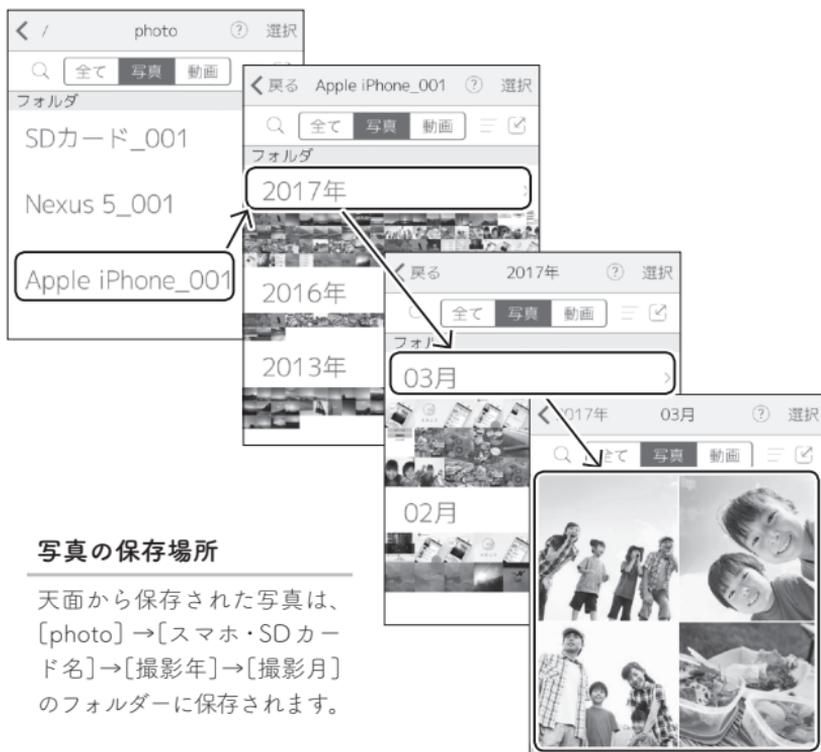
写真を探す

1



2

スマホ・SDカード名→年→月の順にタップし、写真を探す



写真を見る

● 見る写真をタップする

⇒ 写真を大きく表示します。



これでFotogènicに保存した写真を見ることができました。

写真を Instagram に投稿する

※ 手順の画面例は、iOS のものです。

Post a photo to Instagram ▼

Fotogènic アプリで開いた写真を Instagram に投稿します。

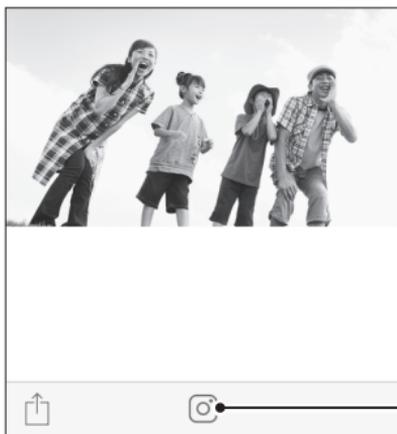
Instagram アプリをインストールしている必要があります

Fotogènic アプリから Instagram アプリに写真データを渡して、Instagram に投稿してもらう操作です。

お使いのスマホで Instagram アプリから写真を投稿できる状態が必要です。

1 Fotogènic アプリで写真を見る (20 ページ)

2



「Instagram」タグ

この操作で Instagram にアップした写真は、Fotogènic アプリ内で「Instagram」タグが自動的に付けられます。

タグについては、【写真を整理する(タグ)】(28 ページ)をご覧ください。

3 Instagram アプリが自動的に開き、写真を投稿します

これで写真を Instagram へ投稿できました。

写真を共有する

※ 手順の画面例は、iOS のものです。

Share photos ▼

Fotogènic アプリで選んだ写真を他の人と共有します。

操作は、写真を選んで共有する人にメールを送るだけ。

その人がスマホでリンクをタップすれば、Fotogènic アプリをインストールして選んだ写真を見ることができます。

あなたの操作

1 Fotogènic アプリで Fotogènic を開く (20 ページ)

2 共有する写真・フォルダーを探す (21 ページ)

3  [選択] をタップ

4  写真かフォルダーを選ぶ

5 共有の操作をする

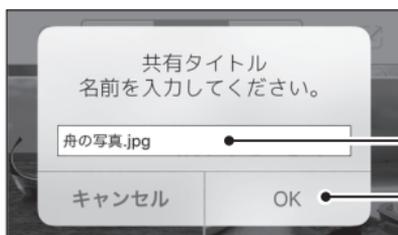
● iOSの操作

 をタップし、表示された
[共有] をタップする

● Androidの操作

 をタップし、表示された
[共有] をタップする

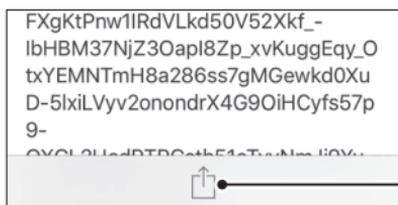
6



共有タイトルを入力

[OK] をタップ

7



● iOS版の操作

 をタップ

● Android版の操作

[アプリに送る] をタップ

8



● iOS版の操作

[メールで送信] をタップ

● Android版の操作

[Gmail] をタップ

9 メールが開くので、共有する人にメールする

これで写真を共有するためのあなたの操作は完了です。

続いて、メールを受け取った人の操作を説明します。

共有する人の操作

1 あなたからの共有メールをスマホで開く

2



メール内のリンクをタップ

3



Fotogènicアプリをインストールできる画面が開くのでインストールする

Fotogènicアプリをすでにインストールしていた場合

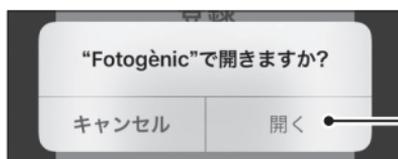
次の手順へお進みください。

4



[登録] をタップ

5



[開く] をタップ

6



[OK] をタップ

7

共有をタップすれば、共有の
写真やフォルダーを見ることが
できます。

これで写真の共有は完了です。

写真を整理する（タグ）

※ 手順の画面例は、iOS のものです。

Organize photos (Tag) ▼

Fotogènic アプリでは、写真にタグを付けることができます。

写真にタグを付ければ、写真を一覧表示した際にタグが同時に表示されます。また、タグで写真を絞り込むことができますので、写真の整理に便利です。

タグ情報はアプリごとに保存されます

他のスマホで設定したタグ情報を見ることはできません。

タグを付ける

1 Fotogènic アプリで Fotogènic を開く (20 ページ)

2 タグ付けする写真を探す (21 ページ)

3  [選択] をタップ

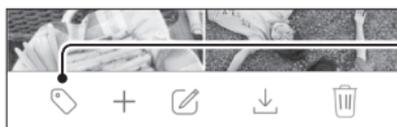


4



タグ付けする写真を選ぶ

5



タグをタップ

6



タグ名をタップして選ぶ
 ※ 選ぶと、文字が濃くなります。
 ※ タグは複数付けることができます。

新しいタグを作る

● iOS版

[新しいタグを作成] を
 タップします。

● Android版

[+] をタップします。

iOS版でタグの色を変える・タグを削除する

● タグの色を変える

タグ名を右にフリックし、色を選んでタップします。

● タグを削除する

タグ名を左にフリックし、[削除] をタップします。

7



写真にタグが表示されます。
タグが付いた写真は大きく表示されます。

これで写真にタグを付けられました。

写真をタグで絞り込む

1 FotogènicアプリでFotogènicを開く(20 ページ)

2 写真を絞り込む場所を開く(21 ページ)

3



タグ名を入力する



該当するタグが付いた写真だけが表示されます。

設定画面を開く

※ 手順の画面例は、iOS のものです。

Open the Setting Screen ▼

Fotogènic アプリで本体の設定画面を開けます。

設定画面は通常開く必要はありませんが、パスワードを変更したり、前面ランプが赤点減したときに問題を確認したりすることができます。

1 Fotogènic アプリを開く (20 ページ)

2



● iOS 版の操作

ⓘ をタップ

● Android 版の操作

☰ をタップ

3



[リモートUI] をタップ

4

リモートUI 閉じる

HLS-PG

ログオン

パスワードを入力してください

●●●●●●●●●●

ログオン

パスワードをお忘れになった場合は、画面で見るマニュアルをご覧ください。
[サポート情報ページ](#)

パスワードを入力

↓ 13ページで設定したものです。

[ログオン] をタップ

↓
設定画面が表示されます。

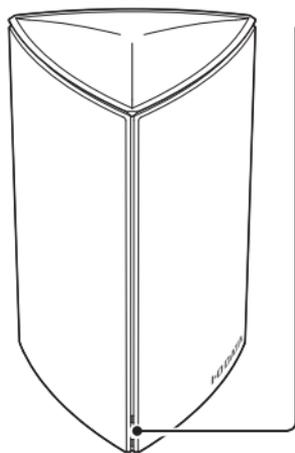
設定画面については、画面で見るマニュアルをご覧ください

<http://www.iodata.jp/p/161956>

各部の名前と機能

Names and Functions of Each Part ▼

▼ 前面



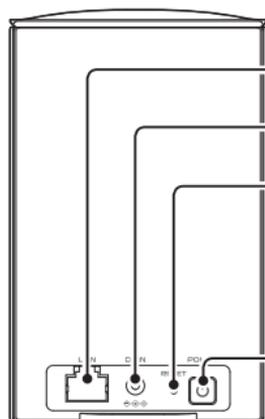
前面ランプ：

色	説明
赤点滅	エラーが発生しています。 設定画面の「ログ表示」をご覧ください(32ページ)。
橙点灯	新しいファームウェアがあります。 一度電源を切り、前面ランプ消灯後に電源を入れてください。
緑点灯	電源が入っています。
緑点滅	起動や終了または何らかのシステム処理が実行されています。 本製品をコンセントから抜いたりしないでください。

前面ランプの赤点滅を止めたい

背面にある電源ランプをポンと押してください。赤点滅が止まります。

▼ 背面



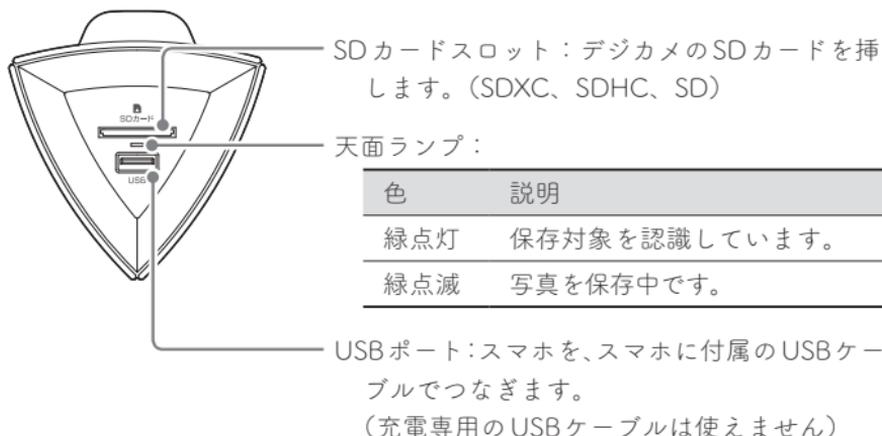
LANポート：LANケーブルをつなげます。

DC端子：ACアダプターをつなげます。

リセットボタン：本製品のIPアドレス、管理者パスワード、PINコードを出荷時設定に戻します。詳しくは、画面で見るマニュアルをご覧ください。

電源ボタン：本製品の電源を入/切します。3秒以上押し続けると、電源が切れます。

▼天面（カバーを取った図）



天面の磁石について

天面の前面側には、カバーを固定するために磁石が入っています。時計・磁気カードなど磁気の影響のおそれがあるものは近づけないでください。

写真の保存後は、本体のカバーをきちんと元に戻してください

本体のカバーは、天面のSDカードスロットやUSBポートにホコリなどの異物が入り込まないようにします。

天面ランプの点滅が終わらない場合

スマホの写真を保存中に、スマホがロック（スリープ）状態になっています。

詳しくは、【スマホのロック（スリープ）にご注意ください】（18ページ）をご覧ください。

お守りください

Be sure to follow this ▼

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。

ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼危険・警告・注意表示

 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を負うことがあります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼絵記号の意味

 禁止
 指示を守る

警告

-  本製品を修理・改造・分解しない
発火や感電、やけど、故障の原因になります。
-  本製品内に異物(液体・金属等)を入れない
コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が本製品内部に入らないようにしてください。
特に、天面コネクターに異物を差し込まないでください。
感電や発火の原因になります。
-  雷が鳴り出したら、本製品やACアダプターに触れない
発火や感電、やけど、故障の原因になります。
-  本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない
発火の原因になります。

 故障や異常のまま、つながない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

 煙がでたり、変なおいや音がしたら、すぐに使うのを止める
そのまま使うと発火・感電の原因になります。

 本製品の小さな部品(ネジなど)を乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。
万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

 本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ずパソコン本体・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントからプラグを抜いてからおこなう
感電の原因になります。

 ぬらしたり、水気の多い場所で使わない
水や洗剤などがかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。

- ・ お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
- ・ 水の入ったもの(コップ、花瓶など)を上にな置かないください。
- ・ 万一、本製品がぬれた場合は、絶対に使わないください。

▼ 電源 (AC アダプター・コード・プラグ) について

 ACアダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない
電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

 じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
発火の原因になります。

 添付のACアダプターや電源コードは、他の機器につながらない
発火や感電の原因になります。
添付のACアダプターや電源コードは、本製品専用です。

 熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

 電源コードやACアダプターにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない

電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。

電源コードの芯線（電気の流れるところ）が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

 AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながらない

発火、発熱の恐れがあります。

 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

電源プラグを持って抜いてください。電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。

 ゆるいコンセントにつながらない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながらないでください。発熱して発火の原因になります。

 煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く

そのまま使うと発火・感電の原因になります。

 コンセントまわりは定期的に掃除する

長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つまったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。（トラッキング現象）

定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

 テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない

テーブルタップの定格容量（1500Wなどの記載）を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

注意

-  **本製品を踏まない**
破損し、けがの原因になります。
特に、小さなお子様にはご注意ください。
-  **人が通行するような場所に配線しない**
足を引っ掛けると、けがの原因になります。
-  **長時間にわたり一定の場所に触れ続けない**
本製品を一定時間使うと、本製品が熱く感じる場合があります。
長時間にわたり一定の場所に触れ続けると、低温やけどを起すおそれがあります。

使用上のご注意

【重要】定期的にバックアップしてください

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。

万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」してください。

本製品または接続製品の保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などを行うこともできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

● バックアップとは

本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体(HDD、BD/DVD など)にデータの複製を作成することです。(データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが2か所にあることを「バックアップ」と言います。)

万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップしてください。

【重要】最新のファームウェアをご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。

お手入れ方法

本製品についた汚れなどを落とす場合は、電源コードを抜いてから、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。

- 汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー/クリーニングペーパーなどは使わないでください。

- ・本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。また、インターネット経由でのアクセスにつきましては、「Remote Link3」のみの動作保証となります。本製品にグローバルIPアドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をおこなってください。
 - ・本製品の時刻を正しく合わせておく必要があります。インターネットに接続可能な環境で、タイムサーバーと同期する設定(出荷時設定)でのご使用をおすすめします。
 - ・本製品の内蔵ディスクに非常に多くのデータが書かれている場合、本製品の起動時間が通常より数分長くなる場合があります。
 - ・前面ランプ点滅中にACアダプターを抜いたり、本製品の電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
 - ・ファイアウォールソフトをお使いの場合、本製品へアクセスできない場合があります。その場合、ファイアウォールソフト側で、137～139番、445番のポートにアクセス許可する設定をしてください。
- また、Remotelink3機能などによって使われるポートも、アクセス許可する設定をしてください。使われるポート番号は、設定画面でご確認ください。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

【重要】譲渡・廃棄の際のご注意

- システム初期化時の内蔵ディスク完全消去等を利用し、データを完全消去してください。
情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめいたします。
※ HDD上のソフトウェアについて
HDD上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなくHDDを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。
- 本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

【重要】

- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
- 個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー (<http://www.iodata.jp/privacy.htm>) に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、以下をご確認ください

- ・画面で見るマニュアルの【困ったときには】を参照
- ・サポートページのQ&Aを参照
- ・最新のソフトウェアをダウンロード

<http://www.iodata.jp/p/161956>



それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

電話：**050-3116-3017**

9:00～17:00

月～金曜日（祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく）

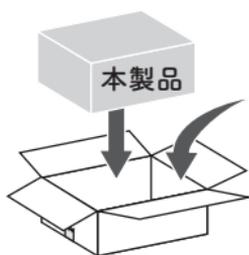
インターネット：<http://www.iodata.jp/support/>

<ご用意いただく情報>

製品情報（製品名、シリアル番号など）、端末の情報（型番、OSなど）

修理について

以下を梱包し、修理センターへお送りください



レシート、納品書
など購入日を示すもの
または保証書



メモ
・名前・住所・TEL/FAX番号
・メールアドレス・症状

※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷すると便利です。



〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。

※紛失をさけるため宅配便でお送りください。

※送料は、発送時はおお客様ご負担、返送時は弊社負担です。

【見積無料】

有料修理となる場合は、先に見積をご連絡します。金額のご了承をいただいてから、修理いたします。

【シール】

お客様が貼られたシールなどは、修理時に失われる場合があります。

【保証内容】

ハードウェア保証規定をご確認ください。

【控え】

製品名とシリアル番号 (S/N) はお手元に控えておいてください。

【修理について詳しくは】

以下の URL をご覧ください (修理依頼書はここから印刷できます)。

<http://www.iodata.jp/support/after/>

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ時より 1年間 無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは弊社が提供する最新のファームウェア、またはソフトウェアを適用した本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合は保証の対象とはなりません。

- 1) 販売店等でのご購入日から保証期間が経過した場合
- 2) 中古品でご購入された場合
- 3) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
- 4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
- 5) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
- 6) 取扱説明書等に記載の使用法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
- 7) 合理的使用法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
- 8) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
- 9) 弊社が寿命に達したと判断した場合
- 10) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
- 11) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

- 1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はおお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
- 2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
- 3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
- 4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

- 1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
- 2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
- 3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。 Our company provides the service under this warranty only in Japan.

Memo

Memo

【使用ソフトウェアについて】

本製品には、GNU General Public License Version2. June 1991に基づいた、ソフトウェアが含まれています。

変更済みGPL対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、以下のWebページをご確認ください。

<http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html>

これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作権は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4) 私的使用のための複製など著作権法上認められた場合を除き、本製品を使用して作成した画像、音声等を、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
- 5) 著作権を侵害するデータを受信して行うデジタル方式の録画・録音を、その事実を知りながら行うことは著作権法違反となります。
- 6) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商標について】

記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

【マニュアルアンケートはこちら】

よりよいマニュアル作りのため
アンケートにご協力願います。



進化する明日へ Continue thinking

株式 **アイ・オー・データ機器**
会社

ホームページ <http://www.iodata.jp/>

I-O DATA